

日大湘南キャンパスに存在する地域資源を活用した環境教育プログラムの作成・実践とその評価

13108044小高泰輔 13108142森本桃 13108149山本竜也

背景

地球環境の悪化が深刻化し、次世代を担う子供たちに対する**環境教育活動は重要**



大学キャンパス等の貴重な資源を有効に活用した環境教育活動の事例は少ない



日大湘南キャンパスに存在する資源を活用した環境教育プログラムを作成・実践し評価

目的

【作成・実践の目的】

- ・環境に対する**豊かな感受性**の育成
- ・環境に関する**見方や考え方**の育成
- ・環境に働きかける**実践力**の育成

【評価の目的】

大学キャンパス内の資源を有効に活用した実用性のある環境教育プログラムの作成

研究方法

稲作体験

- 目的**
- ・身近な環境との関わりに関心を持つ
 - ・伝統や文化など地域資源の保護・活用

対象：亀井野小学校5年生(87名)

活動場所：CNES棚田

【詳細内容】

- ・田植え・観察会・稲刈り・収穫祭の計4回
- ・全活動を児童主体で実施
- ・伝統な稲作についての知識、児童の主体性が深化されたか評価



谷戸探検

- 目的**
- ・動植物など自然との関わりに関心を持つ
 - ・自然を保護するという道徳性の育成

対象：天神小学校1・2年生(104名／97名)

活動場所：日大キャンパス演習林

【詳細内容】

- ・夏・(秋)・冬の計3回
- ・夏季⇒内発的動機付けプログラム
- ・冬季⇒外発的動機付けプログラム
- ・夏季・冬期それぞれの教育的効果を比較、評価



評価方法

アンケート調査

児童・教員・ボランティアの学生を対象に実施

【調査項目】

- ・教育的効果
- ・時間配分
- ・安全性

【調査形式】

- ・稲作体験⇒記述・選択式アンケート
- ・谷戸探検⇒ヒアリング式アンケート

年間予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稲作体験			田植え	観察会			稲刈り		収穫祭			
谷戸探検			夏探検				秋探検		小物作り	冬探検		
											研究まとめ	